

担当課による現行計画の検証【施策評価】

(ページ番号：資料8)

実施事業の評価【指標評価】

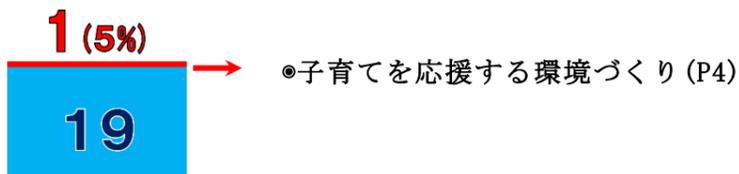
グラフ：評価別割合①/(③-②)×100

横断的視点による実施傾向

■横断該当 ■横断以外

1 子育てと健康のまち

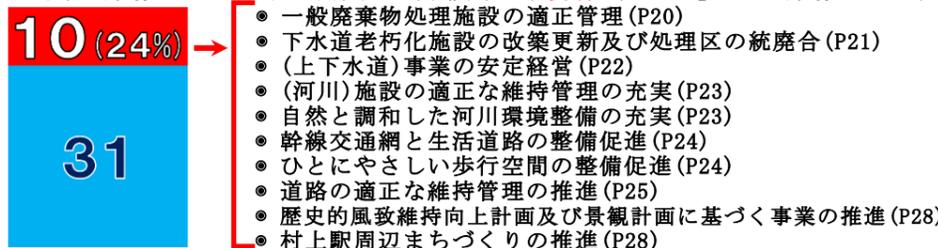
- 政策分野数 5：担当課による「現状・課題」の検証
- 主要施策数 20：担当課自己評価（「**十分成果あり**」の施策数 1）



**考察**  
施策評価では成果のあった施策が一つだけだが、指標評価ではA判定指標数が5つの基本目標で最も高い。施策評価と指標評価で相違がある。横断的視点では子育て事業が基本目標内にあるため「子育て」が高い割合となっている。環境分野での該当はなかった。

2 豊かで安心なまち

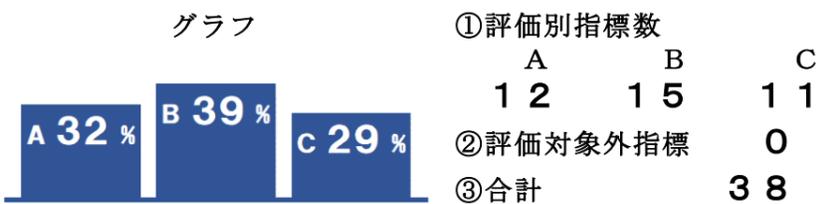
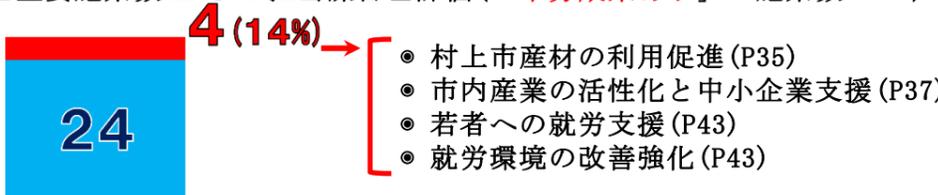
- 政策分野数 11：担当課による「現状・課題」の検証
- 主要施策数 41：担当課自己評価（「**十分成果あり**」の施策数 10）



**考察**  
施策数と指標数が最も多い基本目標で、成果のあった施策も多く、特にインフラ関係施策に多い傾向がある。指標評価も比較的良好。横断的視点では「子育て」に該当している事業が最も多い。基本目標内に環境課事業があり、「環境」に該当している事業のほとんどはその事業である。

3 魅力ある賑わいのまち

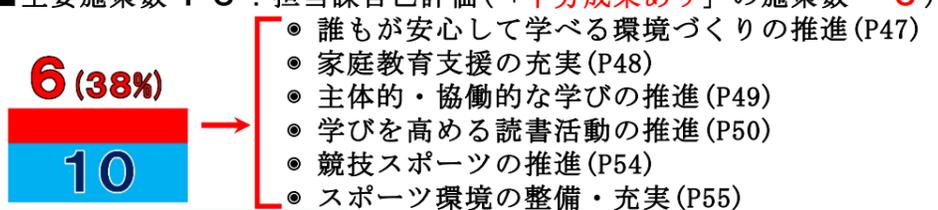
- 政策分野数 7：担当課による「現状・課題」の検証
- 主要施策数 28：担当課自己評価（「**十分成果あり**」の施策数 4）



**考察**  
施策評価では労働関係で成果があったが、指標評価ではC判定指標数が5つの基本目標で最も多い。横断的視点では「デジタル」該当割合が多いが「子育て」「環境」分野の該当は少ない。

4 人が輝く郷育のまち

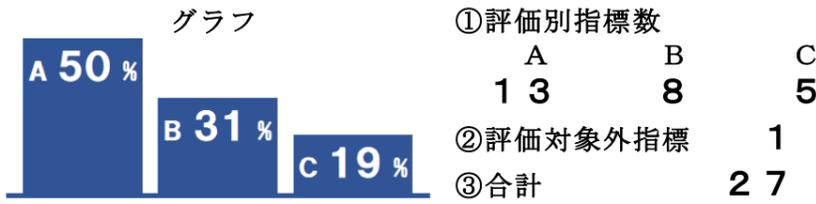
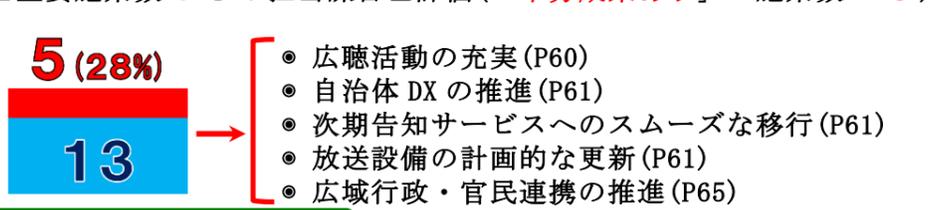
- 政策分野数 4：担当課による「現状・課題」の検証
- 主要施策数 16：担当課自己評価（「**十分成果あり**」の施策数 6）



**考察**  
施策数は少ないが、4割弱の施策で成果があり施策評価は最も良い。指標評価ではB判定が少なく、A・C判定が多い。順調な事業と上手くいっていない事業の二極化がみられる。横断的視点では学校教育関係事業のすべてが「子育て」に該当しているため高い割合となっている。

5 多様性が広がるまち

- 政策分野数 5：担当課による「現状・課題」の検証
- 主要施策数 18：担当課自己評価（「**十分成果あり**」の施策数 5）



**考察**  
成果のあった施策割合も高く、指標評価も良好。順調に推移していると言える。横断的検証ではデジタルの分野が含まれる基本目標であることから、半数の事業が「デジタル」に該当している。一方で「環境」に該当する事業がなかった。

合計

- 政策分野 32
- 主要施策数 123（「**十分成果あり**」 26）

